

MECHANICAL CITY INAGI PRESENTS

MECHANICAL DESIGNER
OKAWARA KUNIO

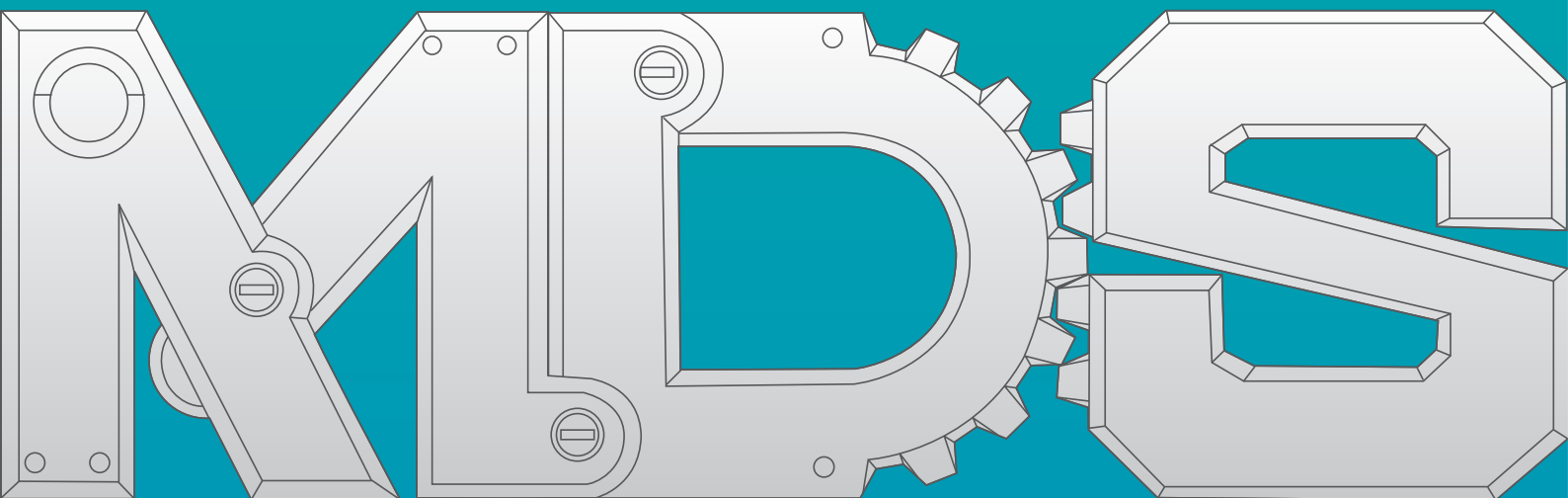
大河原邦男

CONTEMPORARY ARTIST
KURATA KOGORO

倉田光吾郎

ROBOT ARCHITECT
ISHIDA KENJI

石田 賢司



メカデザイナーズサミット

VOL.04

2016.3.19 [土]

会場: 稲城市立iプラザ

入場無料 定員370名

10:30 開場

11:00~13:30 大河原杯メカバトルトーナメント

13:30~14:00 休憩 ステージ替え

14:00~14:20 トークセッション~いなぎの魅力発信

14:30~16:30 メカデザイナーズサミット

共催 稲城市

稲城市商工会

大河原邦男 OKAWARA KUNIO

1947年東京都生まれ、稲城市在住。東京造形大学卒業。オンワード樺山、子供服メーカーのおとぎの国を経て、1972年竜の子プロダクション入社。配属された美術部に背景を描いていたが、『科学忍者隊ガッチャマン』から敵メカなどを担当し、高い評価を得て以後はメカデザイン専門となる。『破裏拳ポリマー』『宇宙の騎士テッカマン』を担当した後、タツノコプロを退社し、上司だった中村光毅と『デザインオフィス・メカマン』を設立。『タイムボカンシリーズ』を経て、1978年に独立してフリーとなる。『無敵鋼人ダイターン3』からサンライズ作品を手掛けるようになり、リアルロボットアニメの金字塔『機動戦士ガンダム』ではモビルスーツのデザインを担当、作品の人気とともに登場メカのプラモデルは空前の大ブームとなった。その後は『太陽の牙ダグラム』『装甲騎兵ボトムズ』などのリアルロボットアニメから『勇者シリーズ』などのスーパーロボットアニメ、『ヤッターマン』などのギャグアニメ、玩具やゲームなど幅広い分野のメカデザインを手掛け、メカデザインの第一人者として現在も活躍している。

現在はアニメーションの仕事の他、海外からカーデザイン、フィギュアデザインのオファーを受けるなど、国内外で精力的に活動している。2013年文化庁メディア芸術祭にて功労賞受賞。

【代表作】科学忍者隊ガッチャマン/タイムボカンシリーズ ヤッターマン/宇宙の騎士テッカマン/無敵鋼人ダイターン3/機動戦士ガンダム /装甲騎兵ボトムズ /勇者エクスカイザー/機動戦士ガンダムSEED /ー発必中!!デバンダー/ガンダムビルドファイターズ 他多数

倉田 光吾郎 KURATA KOGORO

1973年東京都生まれ。現代美術家。水道橋重工代表。91年、From A THE ARTで佳作を受賞し、個展を開く。新国立劇場『フィガロの結婚』(1999)では舞台装置制作を担当。『装甲騎兵ボトムズ』(2005、サンライズ)の実物大スコープドッグの製作を手掛け、大きな注目を集める。フリーキックマシン『カストロール1号』(2010、カストロール社)を製作し、キックスピードのギネス記録を更新。2010年より『人型四脚陸戦型トイロボットクラタス』の製作を継続中。基本的にすべての工程を自分ひとりで行う孤高の製作スタイルである。

石田 賢司 ISHIDA KENJI

1982年新潟県生まれ。ロボット建造師。株式会社BRAVE ROBOTICS代表。14歳、巨大変形合体ロボット建造を志す。21歳、小型二足歩行ロボット作成。22歳、小型変形ロボット(人型-車型)作成。30歳、小型変形ロボット計画を7.2号機で終了。

YouTube200万再生。31歳 株式会社ブレイブ ロボティクス設立。J-deite Quarterを建造し、現在に至る。

メカデザイナーズサミットとは

アニメーション業界におけるメカニックデザイナーの第一人者、大河原邦男氏をホストに、時節のテーマや氏の興味によりジャンル、世代を超えたゲストを迎え、“デザイン”、“ものづくり”といった“クリエイション(創造)”をテーマに探求し、思考やそのプロセスを共有していく、全ての人々にひらかれた場です。

デザインという言葉の語源には“designare(指し示す)”という意味もあります。この場に集う人々の交流から次の時代を切りひらく大きな可能性に何らかの提言ができることを目指します。



ロゴデザイン: KUNIO OKAWARA

大河原杯メカバトルトーナメントとは

稲城市市制施行40周年と大河原邦男氏の創作活動40周年を記念し、ロボット技術の普及と健全な発展を目指して以前より開催されている二足歩行ロボットの格闘競技大会“ROBO-ONE”の参加者が集い、2012年に開催された「大河原邦男作品展」の関連イベント「大河原杯メカバトルトーナメント」を前身としたロボット競技大会です。大河原氏がデザインを手がけたメカを模した機体、ならびにこれにチャレンジしたいメカが本大会に出場します。

リング協力: 一般社団法人 二足歩行ロボット協会



優勝者に贈られる大河原氏が制作したオリジナル記念プレート

月刊ガンダムエース / 大河原ファクトリー 撮影: 田上富貴子

トークセッション～いなぎの魅力発信

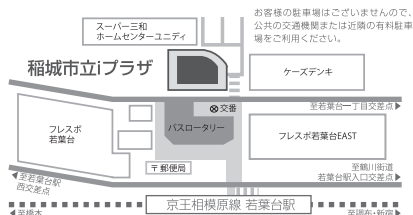
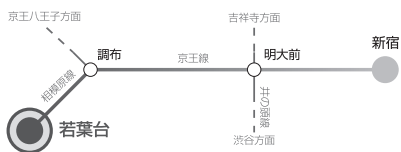
2016年春、メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクトの一環として、JR南武線・稲城長沼駅の高架下到大河原氏がデザインを手掛けた『機動戦士ガンダム』に登場するモビルスーツ2体のモニュメントが設置されます。

高橋勝浩 稲城市長が、監修者の大河原氏、設計・制作を担当し『ゴジラ』や『ウルトラマン』特撮の怪獣造形を手がける開米プロダクション社長 開米敏雄氏を迎え、ビッグプロジェクトの全貌を紹介いたします。



アクセス 京王相模原線「若葉台駅」徒歩2分

イベント会場最寄りの若葉台駅は京王線新宿駅から約30分



稲城市立iプラザ

INAGI MUNICIPAL iPLAZA

東京都稲城市若葉台2-5-2

京王相模原線「若葉台駅」徒歩2分

TEL. 042-331-1720 FAX. 042-331-1715

http://www.iplaza.inagi.tokyo.jp/

お問い合わせ

稲城市役所経済観光課 042-378-2111

稲城市とは

稲城市は、新宿から電車で約30分という好アクセスながら、多摩丘陵の豊かな緑と多摩川や三沢川、大丸用水などの豊富な水とふれあえる、自然環境に恵まれたまちです。長い歴史と伝統に培われた市域には、豊かな自然を背景とする住宅地が形成され、多摩ニュータウン区域にはきれいな街並みやパブリックアートを見ることができます。また、梨やぶどうなどの果実類や野菜を中心とする農業、さまざまな分野の産業が立地しています。

ものづくりコーナー

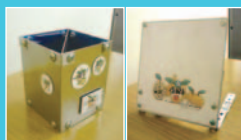
「稲城なしのすけグッズを作ろう」

費 500円

工具を使って金属製の置き時計、文具ボックスを作ります。

※随時受付、なくなり次第終了(稲城市商工会工業部会)

当日、「稲城の太鼓判」認証品や「稲城なしのすけ」グッズを販売しているよ!



稲城なしのすけ

©K.Okawara・Jet Inoue

「ガガンガン」とは

「ガガンガン」とは、赤外線で行走&迫力の銃撃バトルができるロボット玩具です。メカニカルデザイナー大河原邦男氏が、ガガンガン用に作製した設定画を元に商品化された『装甲騎兵ボトムズ スコープドッグモデル』が3月26日(土)に発売されます。会場では、スコープドッグモデルや、水道橋重工の倉田光吾郎氏が製作した人型四脚陸戦型トイロボット「クラタス」とのコラボモデル(好評発売中)を体験できるイベントブースを出展致します。



©サンライズ ©TOMY

近藤科学

近藤科学は二足歩行ロボットキットKHRシリーズをはじめ、サーボ、センサーなどロボット用製品を製造、販売する企業です。2004年の二足歩行ロボットKHR-1の発売を開始以来、多くのロボットユーザーを支えています。今回の大河原杯メカバトルトーナメントや年に2回開催される二足歩行ロボットバトル大会ROBO-ONEでは、当社製品のKRS-4000シリーズ、6000シリーズの高出力サーボを使用して製作されたオリジナルロボットたちが参戦し、熱い戦いが繰り広げられています。